

評価項目一覧表

大項目	小項目	評価基準	配点
基本事項 (15)	・ 導入実績	●他自治体で十分な導入実績があり、運用方法等が確立されている優良なサービスであるか	5
	・ 課題の認識 ・ 導入効果	●審査会業務の課題を認識しており、解決に向けた提案であるか ●導入効果の指標化が可能か	5
	・ 交付金制度の理解 「新しい地方経済・生活環境創生交付金 デジタル実装型：TYPE1」(※1)	●交付金制度の趣旨を理解し、本市課題解決へ連携して取り組めるか ●デジタル庁DMPサイトへの登録が行われており、更なる全国展開や発展が期待できるか	5
システム要件・機能面について (55)	・ 基本事項	●仕様書に基づく仕組みが備えられているか ●各種OS/ブラウザで利用可能であり、インタフェースに差が生じないか ●マルチデバイス利用であり、単一アカウントで2台以上のデバイスから接続可能か	5
	ユーザビリティ① ・ 操作性 ・ 機能性 ・ レイアウト	●初めて電子媒体を扱う者でも、直感的操作が可能であり、基本機能を容易に扱えるか ●タッチパネルでのページ操作や、手書きメモ、付箋機能といった紙と同様に資料を閲覧できる機能が備わっているか ●画面は見やすく情報が整理されているか	10
	ユーザビリティ② ・ 資料の見やすさ ・ 画面構成 ・ 拡張性	●文字サイズやコントラストが適切であり、端末の向き合わせた画面表示が可能か ●文字拡大等の見やすさを補助する機能はあるか ●2画面表示により、同一対象者の資料比較（医師意見書と調査資料を見比べる等）が可能か ●ユーザーに合わせた画面カスタマイズ等は可能か	10
	ユーザビリティ③ ・ 審査会機能	●対象とする資料へのアクセスが容易であるか ●障がい支援区分認定審査に適した機能であり、審査結果各項目（区分や有効期間等）が設定可能か ●対象者資料を見ながら審査結果を入力できるなど、効率的な審査が可能か	10
	事務局機能① ・ 資料の取り込み	●資料の取り込みが支障なくできること ●自動分割機能など、利便性の高い機能があるか	5
	事務局機能② ・ 審査会登録	●審査会の日時設定、審査対象者登録、審査委員（グループ）振り分け等が容易に可能か	5
	事務局機能③ ・ 審査結果集計等	●事前審査・二次判定結果の集計やCSV出力等は可能か。また国配布の「判定ソフト」と連携可能か	5
	その他提案等	●上記項目の他、ユーザー補助や事務効率化に関する提案があるか	5

コスト面 (5)	・導入コスト ・運用コスト	●導入費用（初期設定・講習費用）、ランニングコスト（システム使用・ライセンス費等）は適切か ●費用負担低減に向けた提案は可能か	5
サポート体制 (10)	研修実施 マニュアル等作成	●事務局向け研修が1回実施されるか。また別途、委員向けの研修や説明資料の提供は可能か ●委員改選時、新たに委員へ説明を行う際に、活用可能な動画やマニュアル等の提供は可能か	5
	運用サポート	●システム運用時の問い合わせ先などサポート体制は十分か。またエンドユーザー対応は可能か ●システム停止や障害発生時の対応は適切に定められているか	5
セキュリティ対策 (15)	情報セキュリティ関連	●ISMSクラウドセキュリティ認証、その他情報セキュリティ関連制度への認証・登録状況など、一定以上のセキュリティ対策を実施しているか	5
	システムのセキュリティ対策	●サーバと端末間でのアクセス制御やデータ暗号化等、システムのセキュリティ対策が十分であるか	5
	データセンター等	●データセンターが日本の裁判管轄権内にあり、保守運用のセキュリティ対策が十分であるか	5

(※1) 内閣府地方創生推進事務局：新しい地方経済・生活環境創生交付金（デジタル実装型 TYPE1）

<https://www.chisou.go.jp/sousei/about/shinchihoukouhukin/digital/index.html>